

# 第11回 日韓NGO湿地フォーラム・ 国際湿地NGOワークショップ

日時: 2016年 **10月29日** (土) / **30日** (日)

会場: 岐阜市民会館・会議室80 (29日) / 展示ギャラリー (30日)

岐阜市美江寺町2丁目6番地 TEL058-262-8111

主催: NPO法人ラムサール・ネットワーク日本 共催: 韓国湿地NGOネットワーク

協力: よみがえれ長良川実行委員会

日韓の湿地NGOは過去20年以上も湿地保全について協力し、また2007年から10回のフォーラムを開き、相互の取り組みを深めてきました。2008年ラムサールCOP10における水田決議や、世界湿地ネットワークの設立等を通し地域NGOの政策提言が国際条約や、国家政策など湿地保全を前進させたことはその成果といえます。一方でセマングム干拓や、諫早湾干拓など、個々の湿地を保全できないケースが存在し、湿地に関する課題は山積しています。

湿地の保全は現場から始まり地域のNGOが鍵を握っています。しかしどの地域も目前の問題は大きく、全国・世界に向けた対応がますます困難になっています。

そこで、これまでの日韓フォーラム・世界湿地ネットワークの活動の総括し、いくつかの湿地の近況を共有したうえで、現場の課題と地球規模の課題の接点を考察し、国際条約に向けたNGOの関わり方や、日韓フォーラムのあり方の今後の方向性を探りたいと考えています。是非ご参加ください。

●参加申し込み/フォーム: <https://goo.gl/2B4ma6> 又は、[info@ramnet-j.org](mailto:info@ramnet-j.org) までメールで

①お名前、②ラムネットの会員の有無、③参加を希望する日、④メールアドレス、⑤電話番号(携帯)、⑥その他、をお送りください。

●参加費(資料代込)/当日 2,000円(会員1,500円)(10月20日まで事前申し込みの場合1,500円(会員1,000円))

当日会場の受付で、現金にてお支払いください。



長良川の清流、  
ここに徳山ダムの水の放流計画が！

チョナム貯水池  
(豊かな水量が農地を支え、冬鳥を支えている)

ナクトンガン河口に集まったオオハクチョウ



ナクトンガン河口



海ガメ(表浜)



表浜



河口堰開門、導水路計画中止は市民の願い



長良川河口堰

# 1 program

日時:10月29日[土] 9:30~16:45  
会場:岐阜市民会館・会議室80

〈開会挨拶〉前川 盛治〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉  
〈趣旨説明〉柏木 実〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉

## 〈第1部〉

### 国際条約にとってNGOはどんな存在か?

#### ■基調講演-1

#### 「ラムサール条約とNGO」

ルー・ヤン博士〈ラムサール条約事務局〉

#### ■基調講演-2

#### 「ラムネットJの条約決議採択に向けた活動 —水田決議と国連生物多様性の10年—」

呉地 正行〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉

## 〈第2部〉

### 地域NGOの活動にとって 国際協力はどんな力になるのか?

#### ■現地からの報告

#### 「長良川河口堰開門への課題と日韓交流」

武藤 仁〈長良川市民学習会 事務局長〉

【休憩/昼食】

#### 「湿地保全に向けた日韓協力」

柏木 実〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉

#### ■湿地保全の現状

#### 「水の流れを守る闘い」

日本:陣内 隆之〈ラムサール・ネットワーク日本 理事〉

#### 「4大河川事業による被害と住民訴訟」

韓国:イ・ダソム〈グリーンコリア 活動家〉

#### ■現場から

#### 「ナクトンガンの水門開放」

韓国:キム・キョンチョル〈KWNN 事務局長・湿地と鳥の仲間たち〉

#### 「トタ湖登録を目指す啓発活動」

コロンビア:フェリベ・ベラスコ〈モンテシート財団 事務局長〉

#### 「コウノトリとファボチョン」

韓国:イム・ジヨムヒャン〈韓国水田湿地ネットワーク 事務局長〉

#### 「ナベヅルとチュナム貯水池」

韓国:イム・ヒジャ〈馬山・昌原・鎮海環境運動連合政策室長〉

#### 「クロツラヘラサギ保全と日韓協力」

韓国:ナム・ソンジョン〈仁川クロツラヘラサギネットワーク〉

日本:松本 悟〈日本クロツラヘラサギネットワーク〉

# 2 program

日時:10月30日[日] 9:30~16:45  
会場:岐阜市民会館・展示ギャラリー

## 「〈第2部〉のまとめと問題点」

丸山 明子〈ラムサール・ネットワーク日本 理事〉

## 〈第3部〉

### 国際条約会議に向け地域NGOは どんな働きかけをしてきたか?

#### 「国際条約会議におけるNGOの成果と課題」

柏木 実〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉

#### 「WWNの活動とその評価」

クリス・ロストロン〈WWN 前代表、英国 水鳥・湿地トラスト(WWT)〉

#### 「COP12におけるNGOにとっての成果」

ルイーザ・ダフ〈WWN代表、オーストラリア Conservation Volunteers〉

#### 「韓国湿地運動とその国際湿地運動における意味」

キム・チュニ〈韓国環境運動連合 事務局長〉

【休憩/昼食】

## 〈第4部〉

### 地域NGO・国際条約・国際協力のこれから

■全体討論 進行:柏木実、丸山明子

#### 《テーマ1》

#### 「国際条約(ラムサール、CBD)に 地域NGOは何を期待し、どう関われるか」

#### 《テーマ2》

#### 「国際NGOがつなぐ地域NGOと国際条約」

#### ■グループ討議

《グループA》 進行:浅野正富、陣内隆之

#### 「今後の日韓交流」(日本語・韓国語)

《グループB》 進行:柏木実、丸山明子

#### 「WWNの今後」(英語)

#### ■討議結果の報告

・全体のまとめ:柏木実

〈開会挨拶〉堀 良一〈ラムサール・ネットワーク日本 共同代表〉



ラムサール・ネットワーク日本  
〒110-0016 東京都台東区台東1-12-11 青木ビル3F  
TEL/FAX:03-3834-6566 info@ramnet-j.org  
http://www.ramnet-j.org



※この事業は自然保護助成基金の  
支援を受けて実施しています。

